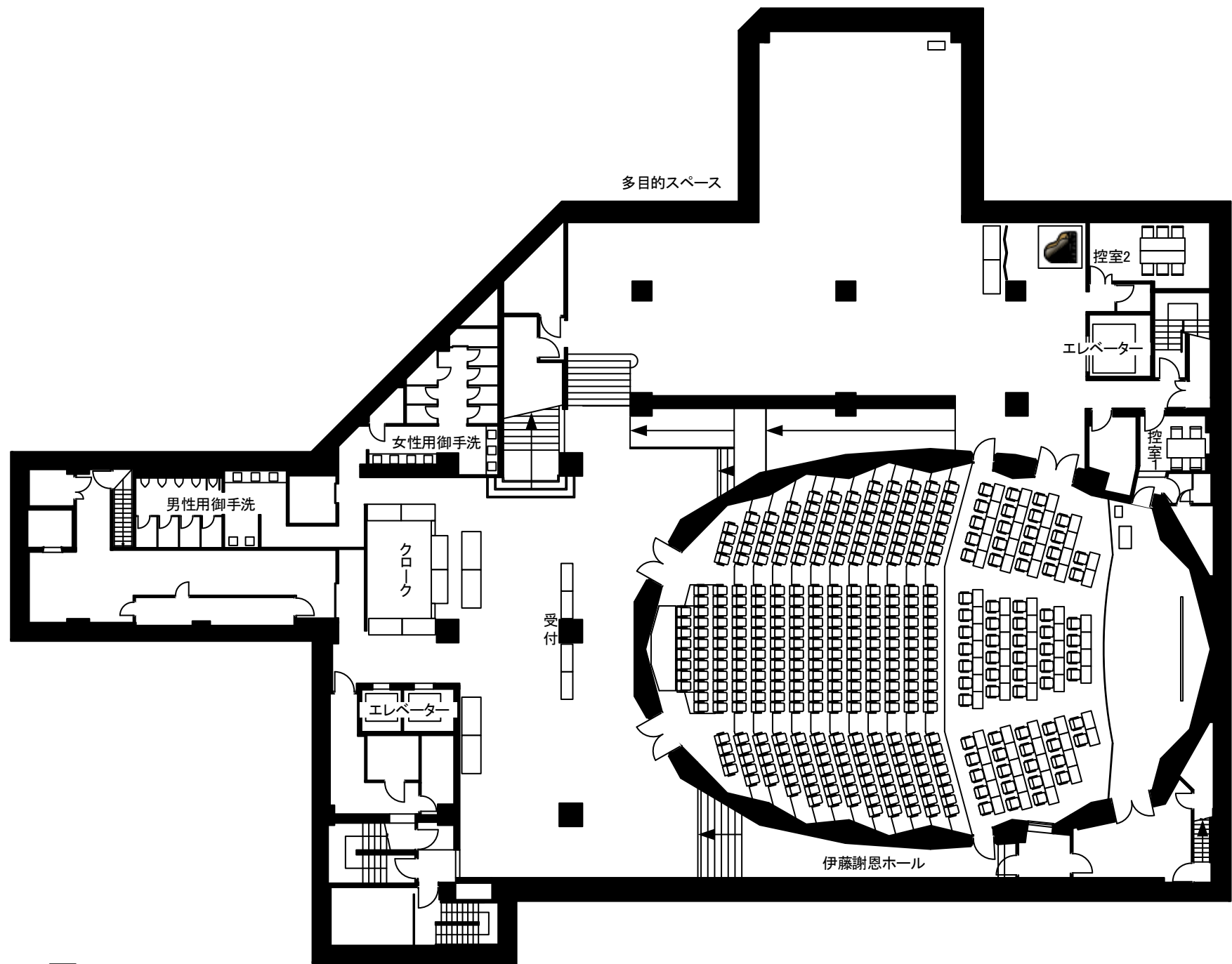


■ 伊藤謝恩ホール				
地下2階 / 面積(412.71㎡) / 天井高(6.4m)				
【定員】通常:396名 / 最大:489名(多目的のスタッキング椅子使用時)				
	主たる備品	数量	サイズ (縦/横/高さ)mm	備考
1	可動機	70	480/800/700	アリーナ席
2	可動椅子A(客席数)	70		アリーナ席/93のスタッキング椅子追加可能
3	固定椅子(客席数)	326		観客席
4	大演台(講演台)	1	765/1510/800	移動式
5	演台(操作卓)	1	765/1015/800	移動不可
6	司会台	1	490/620/1010	移動式
7	花台	2	600/600/700	移動式
8	有線マイク	4		
9	ワイヤレスマイク	4		2回線ピンマイクに変更可能
10	プロジェクター(既設)	1		12,000lm
11	電動昇降スクリーン	1	220インチ(ワイド)	4,870×2,739
12	モニター(足元返し用)	2	55インチ	
13	再生設備	1		CD
14	記録用設備 カメラ	1		電動旋回カメラ(ホール後方)
15	記録用設備 録画機材	1		HDD/DVDレコーダー
16	美術パトン	1	W 8000mm	
17	案内表示板A	6	A3サイズ	
18	案内表示板B	3	870/205	ホワイトボード
19	案内表示板C	1	A1サイズ	階段入口ポスター掲出用
20	案内表示板D	6	340/280/1400~2500	クリップ式フロアスタンド
21	通訳室	1		2名室
22	控室1	1	17.89㎡	定員4名(テーブル席)
23	控室2	1	24.85㎡	定員6名(テーブル席)
24	搬入用エレベーター	1	2050/2000/2300	間口:幅1500/高2100 ★使用の場合は運営室にお声掛け下さい。
※伊藤謝恩ホール使用の場合には、音響照明オペレーターの発注(有料)が必要となります。				
※489席レイアウトへ変更する場合は、可動式機の逃がし場所と椅子確保の為、多目的スペースの予約が必要です。				

■ 多目的スペース				
地下2階 / 面積(332.01㎡) / 天井高(3.5m) / 定員(着席時:93名/立食時:250名)				
	主たる備品	数量	サイズ (縦/横/高さ)mm	備考
1	多目的テーブル	18	800/1600/720	
2	スタッキング椅子	93		※ホール489席レイアウト時に使用
3	司会台(講演台)	1	600/1000/950	可動式
4	有線マイク	1		
5	ワイヤレスマイク	2		1回線ピンマイクに変更可能
6	プロジェクター(可動式)	1		3500lm
7	可動式スクリーン	1		約80インチ
8	グランドピアノ	1		
9	案内表示板A	1	A3サイズ	縦・横可能/挟み込み式
10	仮設ステージ	2	1400×1400×400	
※天井に配置されているスポットは可動式ですが、向きの変更をする場合はご自身で行って下さい。 また、終了後は最初の向きに戻して下さい。				

■ ホワイエ				
地下2階 / 面積(389.95㎡)				
	主たる備品	数量	サイズ (縦/横/高さ)mm	備考
1	受付テーブルA	4	550/1300/950	
2	受付テーブルA用ハイチェア	4		
3	受付テーブルB	4	750/1800/720	
4	クロークスペース	1		【備品】タグ(約600)・ハンガー(約200)
5	カサ立て	4		60本用×4
※伊藤謝恩ホールと多目的スペースをそれぞれ単独利用の場合は、共有となります。				



B2F フロア図

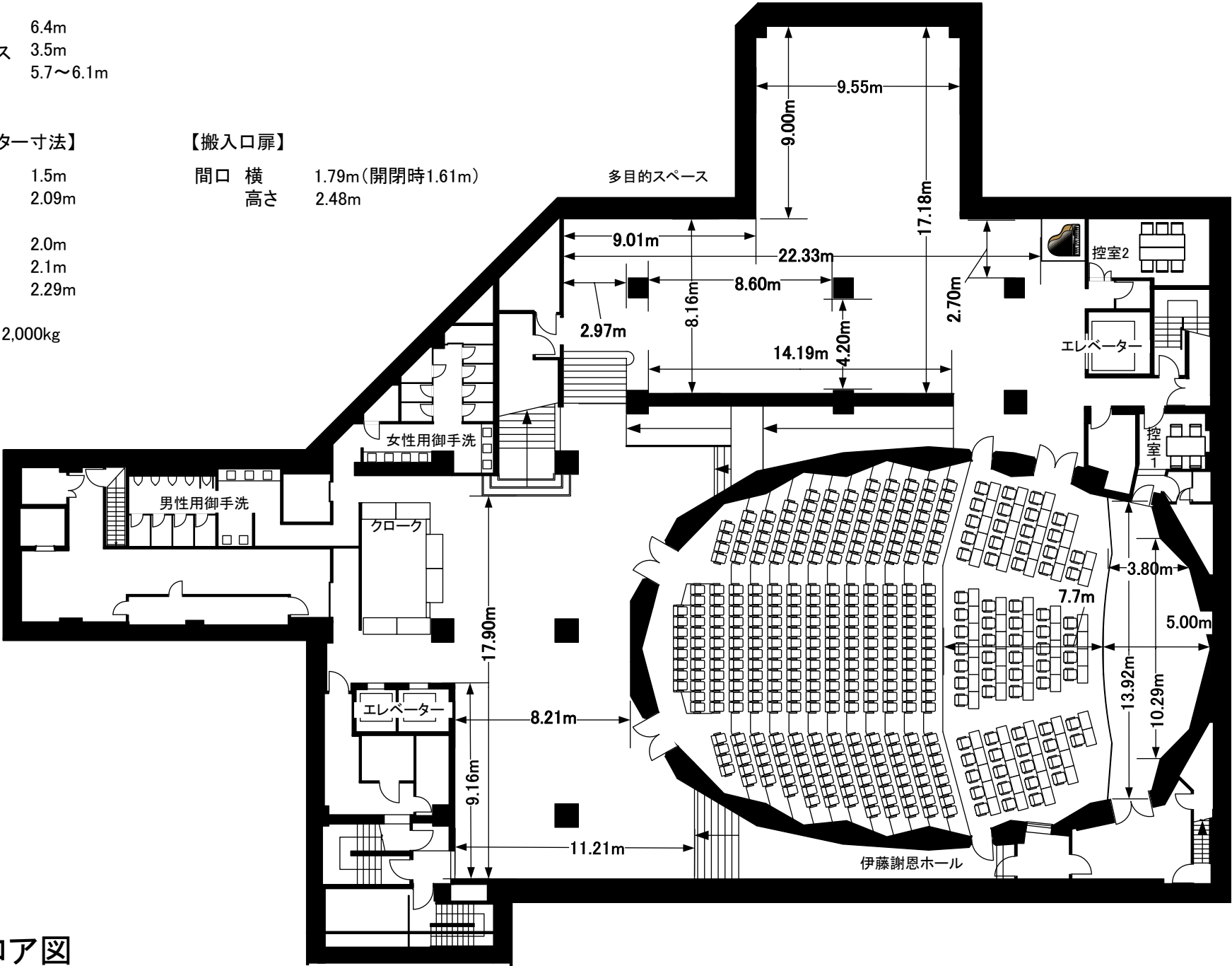
東京大学伊藤国際学術研究センター

【天井高】
 謝恩ホール 6.4m
 多目的スペース 3.5m
 ホワイエ 5.7～6.1m

【搬入エレベーター寸法】 【搬入口扉】
 間口 横 1.5m 間口 横 1.79m(開閉時1.61m)
 高さ 2.09m 高さ 2.48m

室内 横 2.0m
 奥行 2.1m
 高さ 2.29m

*最大積載量 2,000kg



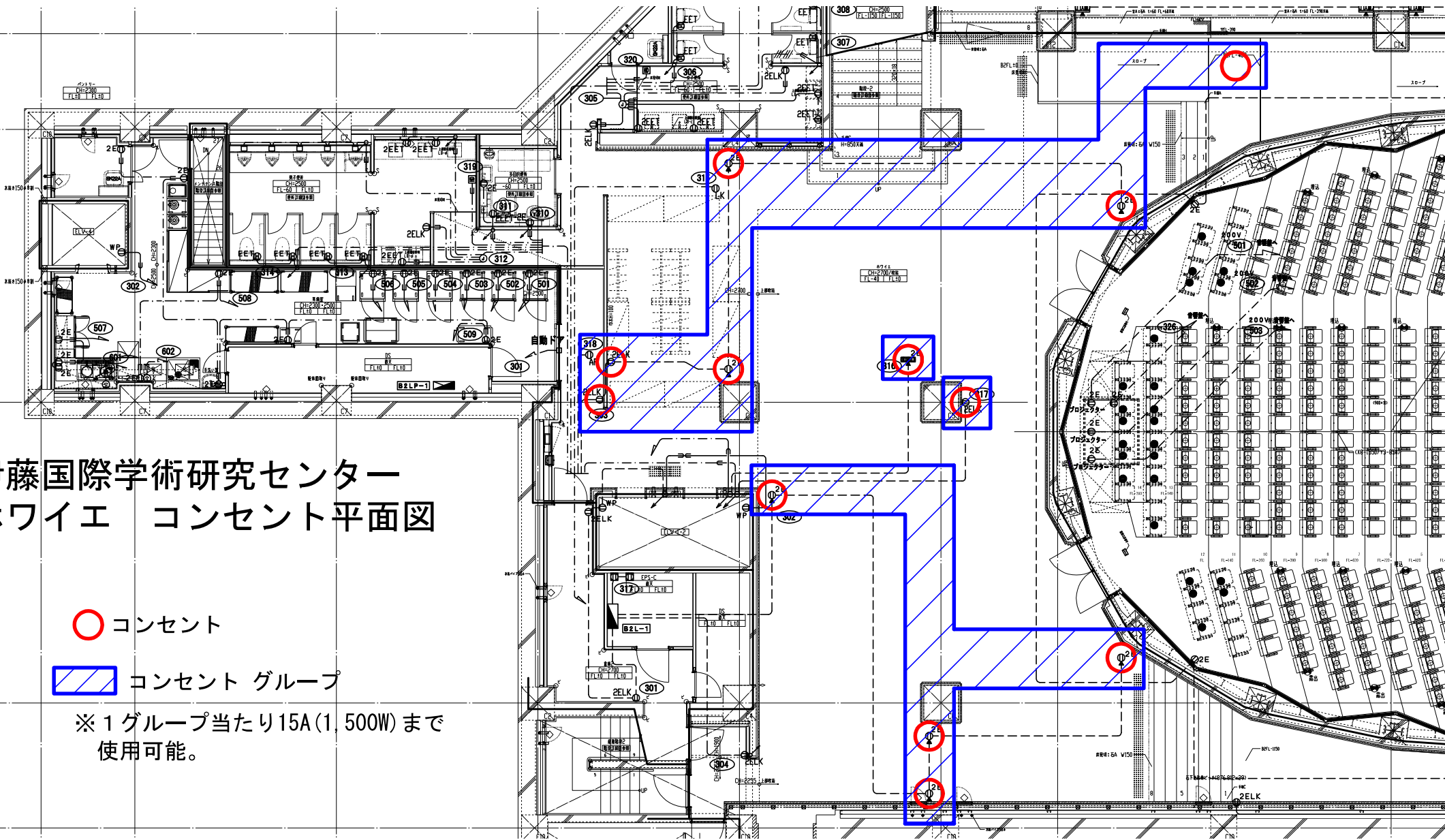
B2F フロア図
 東京大学伊藤国際学術研究センター

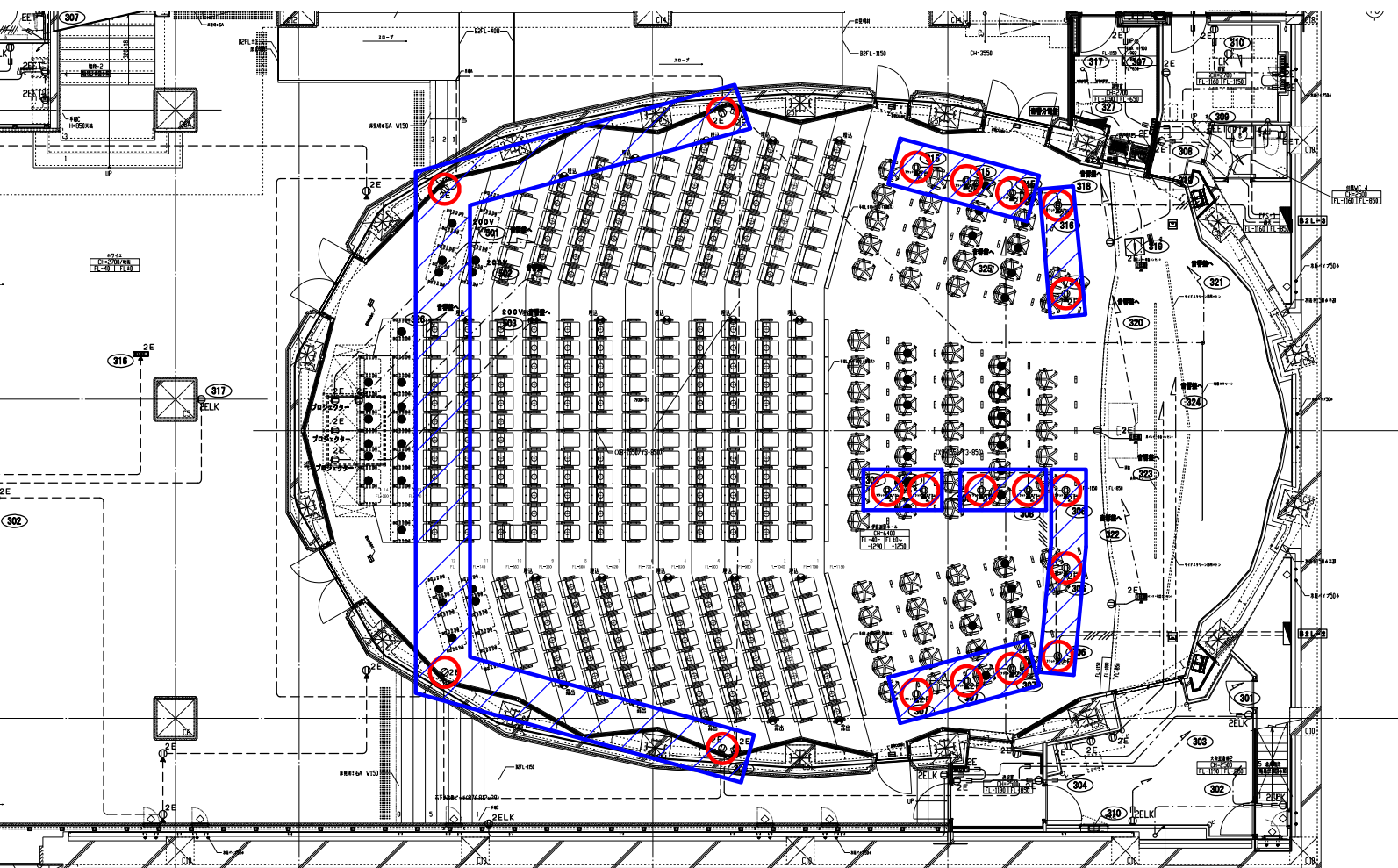
伊藤国際学術研究センター
ホワイエ コンセント平面図

○ コンセント

 コンセント グループ

※1グループ当たり15A(1,500W)まで
使用可能。





伊藤国際学術研究センター 謝恩ホール コンセント平面図

○ コンセント

□ コンセント グループ

※ 1グループ当たり15A(1,500W)まで
使用可能。

注記

1. 特記なき配管配線は、下記による。

—	EM-EFF2.0-3C	(E25)
—	EM-EFF2.0-2C+3C	(E31)
—	EM-EFF2.0-3C×2	(E31)
—	EM-EFF2.0-3C	(天井内配線)
—	EM-EFF2.0-2C+3C	(天井内配線)
—	EM-EFF2.0-3C×2	(天井内配線)
—	EM-EFF2.0-3C	(二重床内配線)
—	EM-EFF2.0-2C+3C	(二重床内配線)
—	EM-EFF2.0-3C×2	(二重床内配線)
—	EM-EFF2.0-3C	(床埋設配管PF22)
—	EM-EFF2.0-2C+3C	(床埋設配管PF22)
—	EM-EFF2.0-3C×2	(床埋設配管PF28)
CE5.5	CE5.5 ^α -3C (FEP30)	GL-300mm
—	—	(PF22)

※ ケーブル配線で壁貫通部及び立下げ部は PF22 にて保護のこと。

— 防火区画貫通処理 (電線管)

2. ケーブルラック防火区画貫通部分 (□) は、国土交通大臣
認定工法にて防火区画貫通処理を行うこと。

* 器具の寸法及び高さは総合図による

NO. 03563

設計事務所名

富岡大学 (太田) 伊藤国際学術研究センター (板敷) 新学丁直

F-016

